ウィーン・リング・アンサンブル

Wiener Ring-Ensemble

　ウィーンの旧市街を取り巻くこの街ならではのみごとな環状道路、“リング”にちなんで命名されたこのアンサンブルは、まさにウィーンの音楽を演奏するために結成された。

　2016年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の名コンサートマスターとして同団を率いたライナー・キュッヒルを中心に、ヴァイオリン2人、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1人にクラリネット2人の9人編成で、ウィーン・フィルの腕利きの主要メンバーたちである。

　ウィーン情緒の香り高いシュトラウス・ファミリーやツィーラー、ランナーたちのワルツ、ポルカの演奏は、ウィーンに寄せる彼らの愛情と誇りを痛感させ、聴く者をこの上ない幸福感で満たしてくれる。

　ウィーン楽友協会での年末恒例のコンサート・シリーズでは、1999年以降、ウィーン・リング・アンサンブルの演奏会が毎年ブラームスザールで行われ、地元ウィーン子の絶賛を集めている。2002年夏には、ルツェルン・フェスティバルに招待された。

　日本へは1991年に初来日し、引き続き1993年以降毎年のように来日。ウィーンでの「ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサート」に出演後、すぐに日本へ駆けつけてニューイヤー・コンサートを行い、本場の響きと香りをそっくり日本のファンに届けている。

　1998年には長野オリンピック文化・芸術祭参加公演に選ばれ、現地で2回の演奏会を行った。その他、度重なるテレビ放映やCDで、日本でもすっかりおなじみの存在である。

　2025年は33回目の来日ツアーとなる。

＜メンバー＞

ライナー・キュッヒル　（ヴァイオリン）

Rainer Küchl，Violin

ダニエル・フロシャウアー　（ヴァイオリン）

Daniel Froschauer，Violin

ハインリヒ・コル　（ヴィオラ）

Heinrich Koll，Viola

シュテファン・ガルトマイヤー　（チェロ）

Stefan Gartmayer，Cello

ミヒャエル・ブラデラー　（コントラバス）

Michael Bladerer, Contrabass

カール=ハインツ・シュッツ（フルート）

Karl-Heinz Schütz, Flute

アレックス・ラドシュテッター（クラリネット）

Alex Ladstätter，Clarinet

ヨハン・ヒントラー（クラリネット）

Johann Hindler, Clarinet

ロナルド・ヤネシッツ（ホルン）

Ronald Janezic，Horn